

2019年11月30日 ~ 2019年12月6日

2019年12月10日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利はほぼ横ばいとなりました。

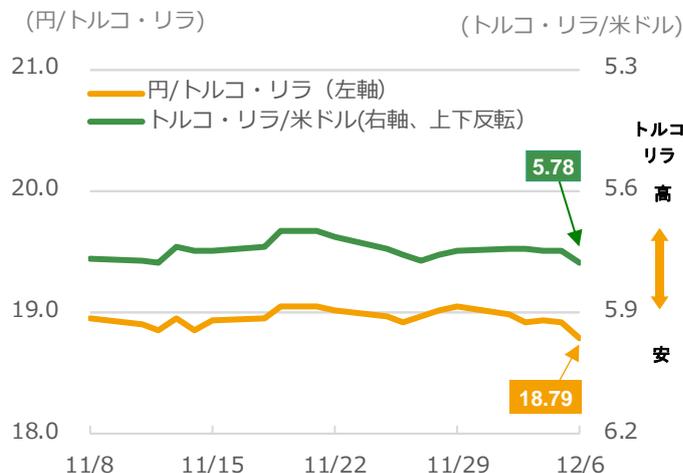
先週は、11月のCPI（消費者物価指数）が発表されましたが、市場予想を下回りました。トルコがロシアから購入したミサイル防衛システムに関して、NATO（北大西洋条約機構）の首脳会議で何らかの議論がなされるのではないかと市場では注目されていましたが、進展はありませんでした。

今週の見通し

今週は経常収支や鉱工業生産指数などの経済指標の発表が予定されているほか、12日（現地）にトルコ中央銀行の金融政策委員会が開催される予定です。インフレ率の鈍化を背景に、市場では政策金利の引き下げが予想されていますが、引き下げ幅に関して市場参加者の予想は様々です。また、エルドアン大統領が「2020年に政策金利とインフレ率ともに1桁台を達成する」と口先介入を続けています。今週のトルコ・リラは、引き続き上値の重い展開になると想定しつつ、金融政策委員会後の値動きに警戒したいと考えています。

トルコ・リラ 為替推移

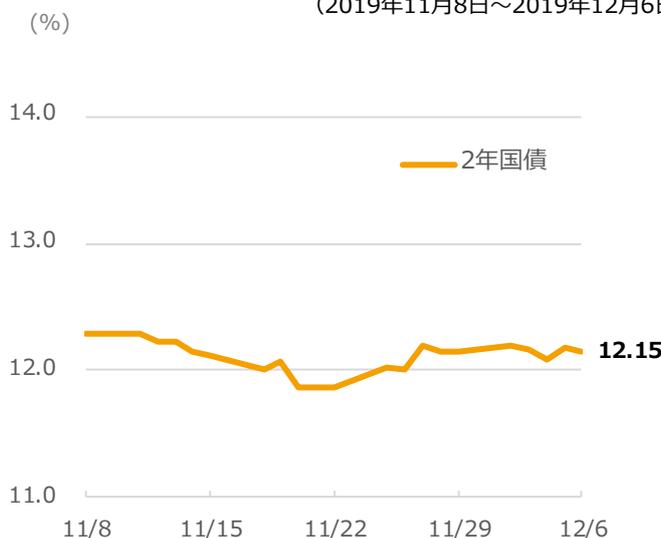
(2019年11月8日~2019年12月6日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年11月8日~2019年12月6日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。